

曲輪を知って
さらに楽しいお城めぐり

立て看板にある「お城の構造」文言。正直、わかりにくい…と感じたことは？
お城の「曲輪」がわかれば、「構造」が見えてくる
構造が見えてくると、ただのお城散歩から、「楽しい妄想」しながらの「城攻め」感覚で回ることができる

くるわとは？

「城の一区画」
表記
曲輪
郭
廓

軍事的・政治的な意図を持って、削平・盛土された平面空間
15世紀後半～ 重ねる形に進化

帯曲輪
腰曲輪
袖曲輪

幅の狭さ等でこのような名称も。山城でよく見かけます

守備に欠かせない重要拠点でもある

中世～戦国期の曲輪

馬出

虎口の前面に配置される小曲輪

半円形のもの

「丸馬出」は武田系のお城の特徴でもある

例：諏訪原城（武田系？→徳川説濃厚）

方形のもの

「角馬出」

例：広島城

※真田丸が大坂城の「馬出」の一つとする意見も

詰曲輪

便宜上、本丸よりも上に曲輪が必要な場合

近世城郭の曲輪

「～丸」の表記が多い

例：本丸・二の丸・三の丸

平城、平山城によくあるパターン

江戸以降、政庁としての役割も

例：西の丸・出丸

出丸

城の守備が脆弱な箇所を補強や物見などの目的でつくられた、補佐的用途

例：真田丸

武家諸法度での禁止事項のため、出丸機能をもつ「大規模庭園」が作られる

例：岡山城の後楽園

なぜ丸？

江戸軍学

円形だから

守備に有利とするべく、丸くつくるべき！

小曲輪のまとめ

～曲輪と総称して呼ぶことも

諸説あり
曲輪・曲輪のお話

役割と構成

曲輪の形

輪郭式

本丸を囲む二の丸、二の丸を囲む三の丸、という縄張

デメリット：守りは堅いが、巨大な敷地が必要となる

例

大坂城

松本城

山形城

派生

円郭式

連郭式

本丸以下の曲輪が一行に並ぶ縄張

天然の要害を堀切等で分断して連郭式に

例

松山城

渦郭式

本丸を中心として二の丸、三の丸を渦巻き状に配置する縄張り

ロールケーキ状

並郭式

本丸と二の丸が並び、その周辺を別の曲輪が取り囲む形式

例

大垣城

島原城

大分城

梯郭式

本丸を湖沼や山河、絶壁など「天然の防御設備」を背にして配置

本丸の周囲の2方向、あるいは3方向を他の曲輪で囲む縄張

例

岡山城

名古屋城

熊本城

上田城

川を利用

階郭式

曲輪群を階段状に配置する形式

戦国時代の山城、近世城郭だと平山城で採用

例

姫路城

丸亀城

熊本城

惣構で囲んだ場合

うちぐるわ

内曲輪・内郭

そとくるわ

外曲輪・外郭

城下町を含んだ場合

①城下町部分

②最も外側にある防御ライン

※武家居住区・町人居住区を区別した場合、内側武家居住区を「中曲輪」とすることも

惣構（総構）のある城

例：小田原城

曲輪の気になる話

諸説あり！

「天守曲輪」と「本丸」の違い？

天守が置かれている「天守台」等構造物

大きく見れば「本丸」という曲輪の施設

あえて天守曲輪と呼んでいる…？

連立式天守や、連結式天守等の形式によって隔てられてきた曲輪

一つの例